

Message メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長
衆議院議員 務台 俊介

コロナ禍とあるべき財政政策

コロナ禍の支援策で日本も欧米と同様、空前絶後の規模の財政出動に踏み出していますが、これまで政府債務を減らさないと財政破綻すると主張してきた財務省をはじめとした政官財そして主流経済学者の多くが何故か沈黙を保っています。今は危機であり緊縮財政どころではないということでその主張を自粛しているのかと思いつかや、実はデフレの日本で政府債務が積みあがると財政破綻が起きるという理屈そのものが誤った理論ではないかということが最近指摘されてきています。

欧米で政府の負債が増えている中で、世界的には金利は低下し、マイナス金利となっていることも珍しくありません。財政破綻とは、累増した債務の金利が上がり借金を払いきれなくなることから生じる事態であるはずですが、その事態は生じていません。もちろん最近で言えば、アルゼンチン、エクアドル、レバノンなどの債務不履行に陥った国はありますが、これらの国は外国から借金をし財政資金を得る中で、自国通貨が暴落し外貨建ての元利払いができなくなっているという事情があります。日本のように国債のほとんどを自国通貨建てで発行し、国内消化できている国とは事情が異なります。

国債を発行しても、金利が上がらず、財政支出により人々の暮らしや景気の下支えをできるのであれば、財政赤字を厭うべきではないという考えが最近広がっています。本当に大丈夫か、という心配の声もありますが、それに対してMMT(現代貨幣理論)が理論的整理をしています。私も国内外の学者の考えを伺い、著作物を読み、それなりの理解は持っているつもりです。

今の現状がインフレであるのであれば、インフレ対策として、需要を抑制するために、緊縮財政を実行し、増税し、供給力強化のために競争促進、自由貿易・グローバル化を促進すべきであるが、デフレ下の現状では、供給過多であるから需要を刺激するデフレ施策が必要で、そのためには積極財政、減税、規制強化、自由化・グローバル化の抑制が必要であるとの説明です。

平成時代の日本の問題は、デフレ下にも拘わらず、デフレ政策ではなく、インフレ政策を継続してきたことが失敗であったとの総括です。財政再建を金科玉条とし、プライマリーバランスの均衡、公共事業抑制、社会保障経費抑制、消費税増税という財政健全化路線が、実は日本の経済成長を阻む自縛自縛の施策だったという総括です。

その政策の根拠となる法律は財政法で、同法4条には「国の歳出は国債に頼ってはいけない」という均衡財政原則が規定されています。例外の但し書きはありますが、この法律に沿って財務省や主流派経済学者は均衡財政論を主張し続けてきました。最近知ったことですが、実はこの

あなたの声をお聞かせください。
政策や日本の将来を語り合いましょう。
ぜひ、お気軽に立ち寄りください!

【自由民主党長野県第二選挙区支部】
住所:長野県松本市白板2-3-30 大永第3ビル101
TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519
mail:office@mutai-shunsuke.jp

【国会事務所】衆議院第一議員会館403号室
住所:東京都千代田区永田町2-2-1
TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334



衆議院議員

務台

しゅん すけ

むたい俊介ニュース

2020年夏号／No.25

■公式Twitter ▶ @mutai_shunsuke ■facebook ▶ <https://www.facebook.com/mutai.shunsuke>
■ホームページ ▶ www.mutai-shunsuke.jp



▲党内の補正予算議論での発言

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症対策の影響が各方面に及んでいます。心よりお見舞い申し上げます。当初より、感染対策、経済にわたる様々な要望を政府に伝え、実現を図ってきました。

当面の対策はもちろん With コロナの新たな時代において日本の国土構造がどうあるべきかを見極めて、これからも地に足のついた活動に努めて参ります。

活動をご紹介します

新型コロナ対応を行っています

新型コロナの対応について、幅広く議論、提言をしてきました。また、地域の皆様へのアンケート調査や、地元自治体や経済関係者に丁寧に聞き取りを重ね、深掘りの対応ができるよう各種機関と連携をとっています。



▲松本市長と市の課題について意見交換



▲安曇野市商工会で意見交換



▲麻績村長と村の課題について意見交換

日々の活動をwebで公開しています

公式Twitter
@mutai_shunsuke

ホームページ
www.mutai-shunsuke.jp

facebook
<https://www.facebook.com/mutai.shunsuke>

むたい俊介

検索



災害対策に万全を期しています

令和2年7月豪雨災害は県内にも被害をもたらしました。現場に赴いて被害を自らの目で確かめ、担当の行政機関や政府にしっかりと対応を依頼しています。復旧とともに新たな備えのために何が必要か「ビルト・バック・ベター」を考えていく必要があります。

生坂村の崩落現場にて



議員立法・議連での活動

議員立法で実現した「特定地域づくり事業の推進に関する法律」で、都会から若者が中山間地に移住し、地域に定着できる法的な素地をつくる他、最低賃金全国一元化やサテライトキャンパスの実現で、大都市への一極集中の是正を進めています。

自民党最低賃金議連で提言をまとめる



現在の主な役職を紹介します

(2020年8月現在)

[衆議院 所属委員会等]

- 憲法審査会 委員
- 環境委員会 委員
- 総務委員会 委員

[党役職(自由民主党)]

- 法務部会長代理
- 憲法改正推進本部 幹事
- 行政改革推進本部 防災体制見直しチーム 事務局長
- 過疎対策特別委員会 事務局長
- 雇用問題調査会 就職氷河期世代支援プロジェクトチーム 幹事
- 子どもの元気!農山漁村で育むPT 事務局長
- 中央政治大学院 副学院長

[議員連盟]

- 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
- 自由民主党水道事業促進議員連盟 事務局長
- スキー議員連盟 事務局長
- 自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟 事務局長
- 最低賃金一元化推進議員連盟 事務局長
- 茅葺き文化伝承議員連盟 事務局長
- 森のようちえん振興議員連盟 事務局長
- 自由民主党ウィンタースポーツ&リゾーツ議員連盟 事務局長代理
- 自転車活用推進議員連盟 事務局次長兼自転車活用PT座長代理
- 捕獲鳥獣食肉利活用推進議員連盟(ジビエ議連) 事務局次長
- 火山噴火予知・対策推進議員連盟(火山議連) 事務局次長
- 自由民主党消防議員連盟 事務局次長
- 自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟 副幹事長

[その他]

- 長野県護國神社 総代会長
- 一般財団法人全国山の日協議会 副会長・理事



△街頭演説での皆様への国政のご報告を続けています

むたい俊介プロフィール

昭和31年(1956年)安曇野市(旧三郷村)生まれ、大町市・旧豊科町で育つ
昭和50年 松本深志高校卒業
昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、総務省調整課長、総務省大臣官房参事官、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任
平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦
平成22年 神奈川大学法学部自治行政学科教授を務める
平成24年 第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて初当選
平成28年8月から平成29年3月 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
平成29年 第48回衆議院議員選挙で3回目の当選

写真ギャラリー

地域を巡る中での各地区の皆様との触れ合いの一こまです。ご協力有難うございました。



松本市



長野市



小川村



信州新町



安曇野市



松本市



議連でスキー場のコロナの影響緩和を議論



安曇野市役所でコロナ対応について要望を伺う



信濃町でテレワークの拠点施設を視察



長野市長・市議会議長から要請を承る



沖縄県知事から自民党過疎対策特別委員会事務局長として過疎対策の要望を受ける



消防議連役員会を開催